

<p>【技術の名称】 PSPⅡ工法 ー芯材を有するソイルセメント改良体工法ー (改定2)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第02-22号 改2 性能証明発効日：2020年3月25日</p> <p>【取得者】 青木あすなる建設株式会社 株式会社安藤・間 株式会社奥村組 株式会社鴻池組 五洋建設株式会社 鉄建建設株式会社 戸田建設株式会社 西松建設株式会社 株式会社松村組</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、従来から仮設山留め壁として用いられているソイルセメント壁の性能を向上させることで、これを本設の地盤改良体として利用する技術である。
本工法の特徴は、高強度のソイルセメント改良体を構築するために、仮設山留め壁の場合より富配合の固化材ミルクを攪拌混合するとともに、芯材からソイルセメント柱体への応力伝達を確実にするために、芯材のH形鋼先端部に頭付きスタッドを付加することである。また、設計条件に応じて、鉛直押し込み支持力のみ、鉛直引抜き支持力のみ、あるいはその両方の支持力を設計することができる。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第02-22号 (2003年3月4日)
改定2：GBRC 性能証明 第02-22号 改2 (2020年3月25日)
- ・目標性能の追加 (短期荷重時の引抜き荷重に対する支持能力)
 - ・ソイルセメント改良体の仕様追加 (引抜き荷重に対する場合)
 - ・施工方式、施工機械等の追記 (修正)
 - ・設計指針の修正 (水平力に対する検討等)
 - ・申込者等の変更 (工法名称、2社の社名変更、5社の脱退)

【技術開発の趣旨】

本技術は、従来、仮設としてのみ用いられているソイルセメント壁を柱状地盤改良体として有効利用することで、環境負荷の低減、コスト・工期の縮減を図ろうとするものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、ソイルセメント改良体の鉛直方向の押し込み支持力あるいは引抜き支持力を対象としており、以下の通りである。
申込者が提案する「PSPⅡ工法 設計指針・施工指針」に従って設計、施工されたソイルセメント改良体は、同指針に定める長期荷重時および短期荷重時の鉛直荷重に対する支持能力、短期荷重時の引抜き荷重に対する支持能力を有する。

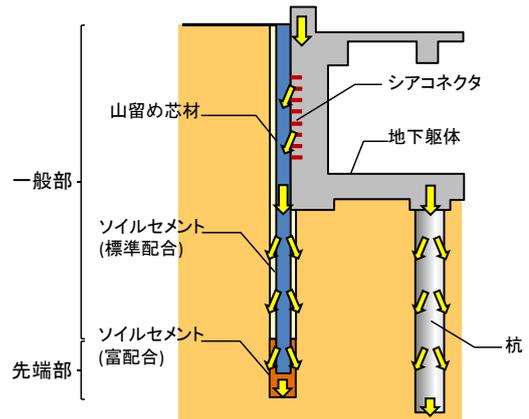


図1 押し込み適用時(既評定)

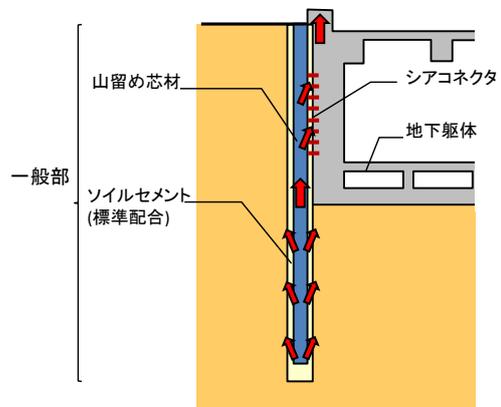


図2 引抜き適用時(今回改定内容)

【本技術の問合せ先】

- 戸田建設株式会社 担当者：佐野 大作
〒300-2622 茨城県つくば市要 315
青木あすなる建設株式会社 担当者：寺内 将貴
〒300-2622 茨城県つくば市要 36-1
株式会社安藤・間 担当者：西 正晃
〒305-0822 茨城県つくば市荏苒 515-1
株式会社奥村組 担当者：上 寛樹
〒300-2612 茨城県つくば市大砂 387
五洋建設株式会社 担当者：富田 祐介
〒329-2746 栃木県那須塩原市四区町 1534-1
鉄建建設株式会社 担当者：尻無濱 昭三
〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町二丁目 5 番 3 号
西松建設株式会社 担当者：新井 寿昭
〒105-0004 東京都港区新橋六丁目 17 番 21 号
株式会社鴻池組 担当者：森清 宣貴
〒305-0003 茨城県つくば市桜 1-20-1
株式会社松村組 担当者：佐藤 武
〒530-8588 大阪府大阪市北区天満 1-3-21

- E-mail : daisaku.sano@toda.co.jp
TEL : 029-864-2961
E-mail : masaki.terauchi@aaconst.co.jp
TEL : 029-877-1112
E-mail : nishi.masateru@ad-hzm.co.jp
TEL : 029-858-8812
E-mail : hiroki.ue@okumuragumi.jp
TEL : 029-865-1813
E-mail : Yuusuke.Tomita@mail.penta-ocean.co.jp
TEL : 0287-39-2107
E-mail : shozo-shirinashihama@tekken.co.jp
TEL : 03-3221-2170
E-mail : toshiaki_arai@nishimatsu.co.jp
TEL : 03-3502-0263
E-mail : morikiyo_nk@konoike.co.jp
TEL : 029-857-2000
E-mail : takeshi_satou@matsumura-gumi.co.jp
TEL : 06-6354-8806